

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

新大橋通り — 1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」と歩いてきました。

今回は「新大橋通り」を歩きます。写真上右は新大橋通りの道路名標識（都道50号線）です。新大橋通りは中央区海岸通りの汐先橋交差点を起点に、新大橋を渡り、江戸川区江戸川の千葉県境 江戸川区江戸川の今井橋に至る延長約13kmの道です。新大橋とは隅田川（大川）に架けられた橋名で、大橋と呼ばれた両国橋の次に架けられたので新大橋と名づけられました。

今回は起点の汐先橋交差点から水天宮前交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[汐先橋交差点] 中央区銀座八丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 汐留駅

新大橋通りの起点は、汐先橋交差点で新橋方面から来た環二通り（都道405号線）と合流、海岸通り（都道316号線）と交差します。左へ行くと銀座方面、右へ行くと竹芝方面です。写真下左は環二通りから見た汐先橋交差点です。上は高速道路が通り、右奥の緑は浜離宮恩賜庭園です。写真下右は汐先橋交差点を渡り、新大橋通り起点から振り返って見たものです。



〔浜離宮恩賜庭園〕 中央区浜離宮庭園

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 汐留駅

国の特別名勝・特別史跡に指定された潮入りの名園です。徳川将軍家の鷹狩りの場所を六代将軍家宣が浜御殿に改修、明治維新後は浜離宮と改称され、皇室の離宮となりました。1946年（昭和21年）4月から都立浜離宮恩賜庭園として開放されています。入園料一般300円、65歳以上150円、休園日は12月29日～1月1日）です。



紅葉は寅さん歩 82 東京の紅葉・黄葉一 1 及び寅さん歩 108 東京の紅葉・黄葉一 3 を、園内は寅さん歩 143 江戸・東京の百名山一 15 をご覧ください。

〔旧青果門交差点〕 中央区築地五丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 築地市場駅

この一帯は築地市場の跡地です。市場機能は2018年（平成30年）10月豊洲市場に移り、東京オリンピック2020での駐車場の役割も終えて、次の舞台へ工事中です。写真下左は旧青果門交差点です。環二通りは右折して別れます。写真下右は工事の白い塀の隙間から見た現在の築地市場跡地です。

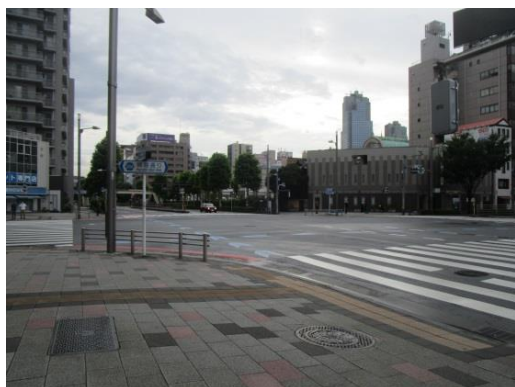


築地場外市場（写真下左右）は健在で頑張っています。



〔築地四丁目交差点〕 中央区築地四丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 築地駅



築地四丁目交差点（写真上左）で晴海通り（都道 304 号線）と交差します。
左へ行くと銀座方面、右へ行くと勝鬨橋・勝どき方面です。

〔築地本願寺〕 中央区築地三丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 築地駅



築地四丁目交差点を渡り、右側が築地本願寺（写真左）です。西本願寺の直轄寺院で首都圏における布教活動を担う関東最大の念仏道場です。

1617 年（元和 3 年）西本願寺（京都）の別院として浅草横山町に建立、1657 年（明暦 3 年）の大火で焼失、幕府より代替地として八丁堀の海上を指定さ

れ、佃島の門徒が中心となり、海を埋めて 1679 年（延宝 7 年）に再建しました。1923 年（大正 12 年）関東大震災で焼失、1934 年（昭和 9 年）古代インド仏教様式の外観で本堂が落成しました。本堂、3 つの門、石塀が国の重要文化財に指定されています。

〔入船橋交差点〕 中央区入船三丁目

最寄駅 東京メトロ有楽町線 新富町駅

下は車が流れる入船橋を渡ると、入船交差点（写真下右）です。
左へ行くと中央区役所方面、右へ行くと佃大橋方面です。



〔八丁堀交差点〕 中央区八丁堀四丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 八丁堀駅

八丁堀交差点（写真下右）で左へ行くと京橋・東京駅方面、右へ行くと新川・中央大橋方面です。八丁堀の地名の由来は江戸時代に開削した堀の長さが約 8 町（約 873m）、後に町が略字の丁になったとのこと。多くの寺がありましたが幕府から浅草への移転を命じられ、跡地は町奉行配下の与力・同心らの組屋敷となりました。同心が自分達のことを八丁堀と称したそうです。



〔茅場町一丁目交差点〕 中央区茅場町一丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 茅場町駅

茅場町一丁目交差点（写真下右）で永代通り（国道 10 号線）と交差します。左へ行くと大手町方面、右へ行くと永代橋方面です。



交差点を渡り進むと、日本橋川に架かる茅場橋（写真下左）がありました。写真下右は江戸橋方面です。上は高速道路です。



[蛸殻町交差点] 中央区日本橋蛸殻町一丁目

最寄駅 東京メトロ半蔵門線 水天宮前駅

蛸殻町交差点（写真下右）で新大橋通り（都道 50 号線）は道なりに直進です。左下は新富町方面、左は常盤橋方面です。この辺りは江戸初期までは海辺の漁師町なので、町名には海産物の名が付いています。明治に入り米穀取引所が置かれ大阪の堂島と共に米相場の中心として発展、1939 年（昭和 14 年）の全国米穀取引所の廃止で穀物商品取引所となり、先物取引が行われました。



しばらく行くと左側に银杏八幡宮・银杏神社がありました。創建年代は不詳ですが、江戸中期に福井藩 常盤橋松平氏のお屋敷内の鎮守だったとのこと。当時は大银杏が境内にありその名が付いたようです。近くに住んでいた作家 谷崎潤一郎も訪れた場所です。

[水天宮前交差点] 中央区日本橋蛸殻町一丁目

最寄駅 東京メトロ半蔵門線 水天宮前駅

新大橋通り（都道 50 号線）は水天宮前交差点（写真下右）を直進します。左へ行くと人形町、岩本町方面です。右へ行くと角が水天宮で墨田大橋方面に行きます。



水天宮（写真左）は江戸時代から安産・子授けの神として多くの人々から厚い信仰を集めています。久留米藩 歴代藩主（有馬家）により崇敬され、1818年（文政元年）江戸上屋敷に分霊を勧請しました。屋敷内にあるため一般参拝が出来ず、幕府に一般参拝の伺が出

で毎月 5 の日に一般開放したそうです。明治に入り有馬屋敷の移転に伴い現地に移されました。寅次郎の母も安産祈願で藤沢から訪れ、腹帯を求めて戌の日に締めて、寅次郎の出産に備えたと聞きました。

今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースが FWA ホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里（約 2400 km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川（現在の江東区深川）の芭蕉庵を出発、2022年10月30日 立石寺（現在の山形県山形市山寺）（江戸深川から892km）に到着しました。八柳さんのコースシートには、次の「奥の細道」本文の評釈と俳句の注釈が掲載されています。

山形領内に立石寺という山寺がある。慈覚大師のお開きになった寺で、格別青閑の地である。一度行って見るがよいと人々が勧めるので、尾花沢から予定とは逆方向に引き返し、立石寺に向かったが、その間7里ばかりであった。麓の宿坊に宿をとり、山上の僧堂に登る。岩に巨岩を重ねて山としたような地形で松や柏も年数を経、土や石も時代がついて苔がなめらかに覆い、岩上に建てられた多くの支院はみな扉をしめ切って、物音一つ聞こえない。

「閑かさや 岩にしみ入る 蟬の声」

（注釈：何という静けさ。ふと気がつけば、この静寂の中で蟬の鳴き声のするのが、あたかも四囲の苔むした岩石の中へしみ透ってゆくような気がする。あたりの静寂はいっそう深く、自分の心も澄みきって、自然の生命の中へと溶け込んでゆくかのようだ）

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝